



6年間で50回を超える国会質問

初当選後
初質問



参議院
厚生労働委員会
2016年11月28日

成育基本法、児童虐待防止、
医師のキャリアデザイン等
について質問しました。



参議院
厚生労働委員会
2017年4月11日

精神保健福祉法改正案等
について質問に立ちました。

厚生労働大臣政務官として
答弁にも立ちました！



衆議院厚労委員会 2019年10月23日

厚生労働大臣政務官として政府の立場から、コロナ対応、
雇用調整助成金、妊産婦の不安解消など、様々な質問に答
弁をしました。

写真は、2019年10月23日の衆議院厚生労働委員会にて就任の挨拶



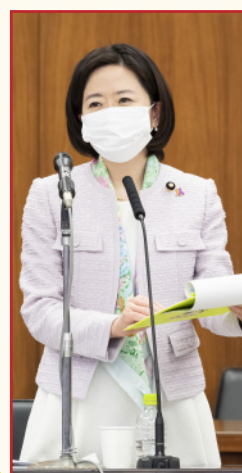
参議院
予算委員会
2020年
11月25日

新型コロナウイルス流行下における医療機関への
更なる支援、女性や子どもを取り巻く環境と妊娠
期からの切れ目のない支援、東京オリンピック・パ
ラリンピック開催に向けた医療機関、保健所支援
体制等について質問しました。



参議院
決算委員会
2021年
4月5日

新型コロナウイルス流行下における医療機関への
更なる支援、こども庁創設、海外との往来におけ
る変異株も含めた水際対策の徹底、難聴対策等につ
いて質問しました。



参議院
厚生労働委員会
2021年4月22日

タスクシフト / シェアリングの
推進、大学病院の特性にあった
財政支援、女性医師支援の一つ
としての院内保育 / 病児保育、
医学部教育と臨床研修のシーム
レス化等について質問しました。



参議院
財務金融委員会
2022年4月14日

社会保障の重要性和ウィズ
コロナの外国人医療費の
適性化、患者目線・国民目線
でかかりつけ医を支える
財務大臣の覚悟等について
質問しました。

提案者として「こども家庭庁」へ全力で

成育基本法成立

- ・妊娠期から乳幼児期、学童期、思春期、青年まで、切れ目のないサポートを目的とする成育基本法を超党派議員連盟の事務局長として **2018年12月に議員立法**。
- ・2021年2月に閣議決定された**成育医療等基本方針**には、小児の視覚屈折検査、先天性股関節脱臼の早期発見と療育支援、新生児聴覚検査の促進、学校検診での側弯症の早期発見などが盛り込まれ、**予算も大幅に増額**。



会長：河村建夫 衆議院議員（当時） 会長代行：羽生田たかし 参議院議員 事務局長：自見はなこ

こども家庭庁

- ・2021年2月に自民党若手有志でChildren Firstの子ども行政のあり方勉強会を設立。
- ・これまで30回以上の勉強会を重ね、**2022年通常国会にて設置法提出予定**。



2021年4月1日 総理大臣官邸にて。
山田太郎参議院議員、木原誠二衆議院議員
牧原秀樹衆議院議員とともに。

「こども家庭庁設置法案」閣議決定、国会提出へ！
成立に向け全力で頑張ります！！

難聴対策推進議員連盟

- ・「難聴対策推進議員連盟」を2019年4月に設立。
- ・2019年12月までに計12回の議連総会を重ね、**全世代型の難聴対策の指針「Japan Hearing Vision」**を取りまとめる。
- ・令和2年度は「新生児聴覚検査及び聴覚障害児支援」への予算、**対前年度比約12倍の6億円獲得**。
- ・令和2年度診療報酬改定においてはリハビリテーション料の見直しとして、**言語聴覚士の活躍推進**。



会長：石原伸晃 衆議院議員（当時）
（現会長：上川陽子 衆議院議員）
事務局長：自見はなこ